

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2004-24463(P2004-24463A)
 【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報2004-004
 【出願番号】特願2002-183957(P2002-183957)
 【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 5/00
 G 0 6 F 12/00
 G 0 6 F 17/30
 G 0 6 F 17/60
 G 0 6 F 19/00

【F I】

A 6 1 B 5/00 G
 G 0 6 F 12/00 5 4 7 Z
 G 0 6 F 17/30 1 8 0 A
 G 0 6 F 17/60 1 2 6 Z
 G 0 6 F 19/00 1 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成17年4月12日(2005.4.12)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

感染症に対するリスクファクターごとに設定された得点と、前記得点に基づいてリスクの程度を段階的に表す第1の指標を決定するための判定基準とを有する知識データベースを評価し前記知識データベースの内容を編集する方法であって、

記憶手段に格納された各個人別の症例データについて前記知識データベースに基づいて対応する前記第1の指標を判定して前記症例データと対応づけて記憶し、

前記症例データについてユーザにより判定されたリスクの程度を段階的に表す第2の指標を入力して前記症例データと対応づけて記憶し、

複数の前記症例データについて前記第1の指標と前記第2の指標の組合せの各々について前記症例データの件数を集計して表示し、

ユーザからの要求に応答して前記知識データベースの内容を編集することを特徴とする感染症知識ベース編集支援方法。

【請求項2】

前記第1の指標より前記第2の指標が低い前記症例データについて、前記得点が低い前記リスクファクターを高くするための編集候補として表示し、前記第1の指標より前記第2の指標が高い前記症例データについて前記得点が高い前記リスクファクターを低くするための編集候補として表示することを特徴とする請求項1記載の感染症知識ベース編集支援方法。

【請求項3】

前記判定基準は、前記第1の指標が前記得点の前記症例データごとの合計値の範囲によって決定されるように設定されており、前記症例データと対応づけられる前記第2の指標

が決定されるような前記合計値の範囲を前記判定基準編集の候補として算出して表示することを特徴とする請求項 1 記載の感染症知識ベース編集支援方法。

【請求項 4】

計算機に、感染症に対するリスクファクターごとに設定された得点と、前記得点に基づいてリスクの程度を段階的に表す第 1 の指標を決定するための判定基準とを有する知識データベースを評価し前記知識データベースの内容を編集する機能を実現させるためのプログラムであって、

計算機に、記憶手段に格納された各個人別の症例データについて前記知識データベースに基づいて対応する前記第 1 の指標を判定して前記症例データと対応づけて記憶する機能

、
入力手段によって、判定が入力された前記症例データについてのリスクの程度を段階的に表す第 2 の指標を前記症例データと対応づけて記憶する機能、

表示手段に、複数の前記症例データについて前記第 1 の指標と前記第 2 の指標の組合せの各々について前記症例データの件数を集計して表示させる機能、および

編集手段によって、前記知識データベースの内容を編集する機能を実現させるためのプログラム。

【請求項 5】

表示手段に、前記第 1 の指標より前記第 2 の指標が低い前記症例データについて前記得点が低い前記リスクファクターを高くするための編集候補として表示させる機能、および前記第 1 の指標より前記第 2 の指標が高い前記症例データについて前記得点が高い前記リスクファクターを低くするための編集候補として表示させる機能を実現させるための請求項 4 記載のプログラム。